消防設備点検業者様用

火災一斉メールシステムをご使用いただくための
火災通報装置の設定と試験方法説明書

消防設備の点検や工事お疲れ様です。
この度、火災一斉メールシステムをご導入頂くことになり、お手数をおかけしますが宜しくお願いいたします。ご不明な点などありましたら、お気軽に下記までお問い合わせください。
また、弊社より優先的にご紹介する、地元の「火災一斉メールシステム」設定・試験事業者様を募集しています。良かったらご応募下さい。　　　　　　　　担当　加藤

目次

発行　有限会社 加藤電工

e-mail info@katoden.co.jp　TEL 0973-23-2188　FAX 0973-22-7234
〒877-0044　大分県日田市隈２丁目１－１８

1、火災一斉メールシステムの概要　　　　　　【特許出願中】

1－1　従来の方法

　万一、火災が発生した場合、下写真の火災通報装置の通報ボタンを押し、１１９番通報を行い、その後、関係者に自動的に火災メッセージを送信する方法が一般的な方法でした。しかし、メッセージを電話回線を使用し音声で伝えるため、最終伝達者まで時間がかる、確実性に乏しい、多数の職員に伝えるには不向きなどの欠点がありました。また、多くの火災通報装置が携帯電話には十分対応していません。

この問題を見事に解決したのが、火災一斉メールシステムです。

1－2　火災一斉メールシステムの方法

　万一、火災が発生した場合、火災通報装置の通報ボタンを押し１１９番通報を行います。ここまでは従来の方法と変わりません。

火災通報装置は、次に一般通報先へ電話回線を使用しメッセージ送信を始めます。一般通報先数は、火災通報装置によって異なりますが、概ね１０～１６ヶ所です。

　「火災一斉メールシステム」では、一般通報先の第１通報先に「火災一斉メールサーバー」電話番号（注１）が設定されており、火災メッセージを受信した「火災一斉メールサーバー」は、着信電話番号（注２）を確認し、次にメッセージ音声内容を確認（注３）し、関係者全員（最大５００名）に数十秒で携帯メールを配信し火災発生を伝えます。

注１　「火災一斉メールサーバー」電話番号：ご契約後、ＩＤ、パスワード、確認番号と共に宅急便等でお送り申し上げます。

注２　「火災一斉メールサーバー」は、あらかじめ登録された火災通報装置収容回線番号であるかを確認します。
あらかじめ登録された収容回線番号と確認された場合、次ステップの音声内容確認に進みます。
収容回線番号が登録内容と確認されなかった場合、回線を切断し待機状態に戻ります。

注３　「火災一斉メールサーバー」は、メッセージ内容の送信手順が法令で定められていますので、次の方法で内容を確認します。
　最初に送信される「ピ、ピ、ピ　ピ、ピ、ピ」の特有信号、「火事」、「電話番号」、「こちらは」の単語の何れかでも確認できた場合、「火災メール」を携帯電話に配信します。
確認できなかった場合、「疑火災メール」を配信します。

2、火災通報装置の設定

弊社よりお送りした「火災通報装置情報」に記入頂きながら作業を進めて下さい。

２－１　火災通報装置収容回線番号、製造者と品番の確認

火災通報装置に収容された電話回線番号(収容回線番号)を確認します。確認方法は、

火災通報装置に接続されたNTT回線をはずし、
他の電話機をNTT回線に接続し、
携帯電話に電話し、
携帯電話に表示された電話番号が、

火災通報装置の収容回線番号です。

火災通報装置の製造者と品番を確認いただき「火災通報装置情報」にご記入下さい。

２－２　火災通報装置へ「火災一斉メールサーバー」電話番号を登録する

弊社は、お客様のご了解を得て、

火災メールを迅速に配信するため、「火災一斉メールサーバー」電話番号を一般通報先の第１通報先に設定することを希望しています。

万一、上記が不可能な場合、なるべく早い順位への設定を行って下さい。

設定にあたっては、次の手順で行って下さい。

① 現在の一般通報先設定の確認とメモ
② 一般通報先の第１通報先へ〇〇地方の場合、
　「火災一斉メールサーバー」電話番号０００－００－００００を設定
③ 現在の一般通報先を順次登録設定
④ 登録内容の確認

※ １　参考例として　サクサ(株)製　SDE－２０４F(２)取扱説明書該当部分をP３～P５に掲載しております。他社の場合、取扱説明書にて確認下さい。ご不明な点は、各社サポートセンターへ
サクサ(旧大興電機)0570-003-933
能美防災　各支店営業所、パナソニック 0570-081-110
ヤマトプロテック 各支店営業所、長野無線 03-5360-4570
ホーチキ　各支店営業所、ニッタン 03-3468-1186

※ ２　最終確認手段として、疑似交換器による試験をお奨めします。

２－３　オールコールの設定の確認(設定可能な場合)

オールコール(全ての通報先が応答するまで呼び出す)の設定が、オールコールの設定になっていることを確認して下さい。

設定参考例: サクサ(株)製　SDE－204F(2)　工事説明書転載

7－3－1　登録方法

(1) M を押す。(登録／確認モード開始)

(2) 0 1 # ～ 4 0 # のうち登録したいコードを押します。

(3) 登録したい内容の数字を押します。(数字入力により登録モードとなります)

(4) もう一度 # を押します。(登録終了により登録された内容は順次7セグメントLED (以下LEDという)に表示されます)

(5) (2)～(4)の繰返しにより次項目を選択します。

(6) 登録作業を終了したい場合は E を押します。(登録モード終了)

〔登録内容一覧〕

項 番	登録項目	コード □□#	登録内容	初期値
1	一般通報先	01～16	通報先電話番号16ヶ所	―
2	一般通報先のシリーズコール	17	0:オールコール(すべての通報先が応答するまで呼び出す) 1:応答エンド(1ヶ所応答した所で通報打切り)	0
3	一般通報時の火災報知ベル・消防確受ランプ出力	18	0:一般通報時に火災報知ベルおよび消防確受ランプを出力しない時 1:一般通報時に火災報知ベルおよび消防確受ランプを出力する時	1
4	メッセージの切替	19	0:自火報入力による通報動作中に押ボタンが押されたとき自火報メッセージ1回送出後にメッセージ切替 1:自火報入力による通報動作中に押しボタンが押されたとき自火報メッセージ途中でも切替	0
5	一般通報時の応答	20	0:1メッセージを聞かないと応答とみなしません。 1:1回目のメッセージの途中でON HOOKしても応答とみなします。	1
6	音声検出用レベル	26	0:音声検出の感度をよくするとき 1:標準 2:音声検出の感度をにぶらせるとき	1
7	メッセージ送出開始時間	27	0:5秒 1:10秒	0
8	回線種別	31	1:DP10pps　2:DP20pps 3:PB	1
9	回線切替ユニットの回線種別	32	1:DP10pps　2:DP20pps 3:PB	1
10	0発信の設定	33	0:0発信なし 1:0発信あり	0

項 番	登録項目	コード □□#	登録内容	初期値
11	F2ルートの設定	34	0:自火報 1:火災通報ボタン	0
12	一般通報メッセージ送出時間	35	0:300秒 1:60秒	0
13	通話割り込みタイミングの設定	36	0:即時 1:1回目のメッセージ送出後に切り替え	0
14	不定メッセージ CH	37	0:F1→ACH 0:F2→BCH 1:F1、F2→A+BCH	0
15	一般通報時のモニタ	38	0:モニタなし 1:モニタあり	0
16	応答までの取り消し機能	39	0:あり 1:なし	0
17	送信メッセージ「逆信してください」の付加	40	0:あり 1:なし	0

〔登録設定例〕

(1) 0 1 # 7 8 8 9 0 5 1 # ……第1通報先(最大 16 桁)

∫

(16) 1 6 # 7 8 9 1 0 0 1 # ……第 16 通報先(最大 16 桁)

(17) 1 7 # 0 # …………………………オールコール(通報先すべてに通報)

(18) 1 8 # 1 # …………………………一般通報時の火災報知ベル・消防確受ランプ出力有

(19) 1 9 # 0 # …………………………自火報通報中押ボタンが押されても、自火報メッセージ1回送出後にメッセージを切替

(20) 2 0 # 0 # …………………………一般通報時の応答でメッセージを1回以上聞かないと応答とはみなさない。

(21) 2 6 # 0 # …………………………音声検出時の感度を良くする

(22) 2 7 # 1 # …………………………メッセージ送出開始時間 10 秒にする

(23) 3 1 # 1 # …………………………本装置の回線種別 DP10PPS

(24) 3 2 # 1 # …………………………回線切替ユニットの回線種別 DP10PPS

(25) 3 3 # 0 # …………………………0発信なしの場合

(26) 3 4 # 0 # …………………………F2 ルートが自火報の場合

(27) 3 5 # 0 # …………………………一般通報メッセージ長 300 秒

(28) 3 6 # 0 # …………………………通話割込は即時に行う

(29) 3 7 # 0 # …………………………不定メッセージはルート毎に送出される

(30) 3 8 # 0 # …………………………一般通報時のモニタ機能なし

(31) 3 9 # 0 # …………………………応答までの取消機能あり

(32) 4 0 # 0 # …………………………送信メッセージ「逆信してください」を送出する

(33) E ……………………………………………終了

7－3－2 登録内容の確認方法

1）7－3－1項で登録した内容の確認を行う場合は以下の操作を行います。

（1）M を押します。（登録／確認モード開始）

（2）0 1 ＊ ～ 4 0 ＊ のうち確認したいコードを押します。

（＊により確認モードとなります。なお、01～40は登録時のコードに対応します）

（3）登録されている内容を順次 LED に表示します。

（4）（2）、（3）の繰り返しにより次項目を選択します。

（5）確認作業を終了したい場合は E を押します。（確認モード終了）

2）1）項以外に下記内容の機能があります。
保守点検時等に利用してください。
操作方法は1）項と同様です。

項番	登録項目	コード □□＊	確認方法
1	火災通報ボタンメッセージモニタテスト	21	メッセージ内容を聴取
2	自火報メッセージモニタテスト	22	メッセージ内容を聴取
3	火災通報ボタンシミュレーション	23	LED に通報先番号を順次確認後メッセージ内容を聴取
4	自火報シミュレーション	24	LED に通報先番号を順次確認後メッセージ内容を聴取
5	バッテリ試験	25	正常：「ピンポ～ン」を聴取 異常：「ピッピッピッ」を聴取

7－3－3 登録内容（一般通報先電話番号）の消去

（1） M を押します。

（2） 0 1 # ～ 1 6 # のうち、消去したいコードのテンキーを押します。（なお、01～16 は登録時のコードに対応します。）

（3）もう一度 # を押します。（消去完了）

（4）消去したいコードについて（2）～（3）を繰り返し行います。

（5）消去作業を終了したい場合は E を押します。

（消去例） M 0 5 # # で
（一般第5通報先の電話番号）の登録が消去されます。

2-7　通報宛先番号、通報メッセージの設定方法

119番は、すでに固定データとして保持されていますので設定の必要はありません。

設定時に使用するキー、ランプおよび表示器については、付図―4を参照のこと。

2-7-1　通報宛先番号、通報メッセージのオールクリア

① ディップスイッチSW２―４をONします。

② 本装置のテストスイッチを押し、テストモードにします。
この時、テストランプが点灯します。
同時に表示器に、[illegible]が表示されます。

③ ダイヤルキー0を押し、田を押すことによりテスト０が実行されます。
表示器には、[illegible]が表示されます。

④ 通報宛先番号の10宛先（テスト用含む）とメッセージがすべて消去され、オールクリア状態になります。

⑤ テストモードを終了するには、テストスイッチを押して下さい。
この時、テストランプ、表示器は消灯します。

⑥ ディップスイッチSW２―４をOFFにする。
※必ず最後はOFFにすること。

2-7-2　通報ダイヤル番号設定（最大16桁）

宛先番号と宛先ダイヤル番号を下記の手順に従って設定して下さい。

宛先番号と宛先ダイヤル番号との関係は、下記の表の通りです。

宛先の通報優先順位は、１→２→３→………７→８→９の順位で行われます。

宛先番号	宛先ダイヤル番号
0	テスト用ダイヤル番号
1	近隣第１通報先ダイヤル番号
2	〃　2　〃
3	〃　3　〃
4	〃　4　〃
5	〃　5　〃
6	〃　6　〃
7	〃　7　〃
8	〃　8　〃
9	〃　9　〃

※宛先番号０は、テスト時のみ使用します。テスト時、119番の代りとして通報させたい場合、電話番号を設定して下さい。

① 本装置の通報先設定スイッチを押し、通用先設定モードにします。
この時、通報先ランプが点滅します。

② 同時に表示器に、[illegible]が表示されます。

③ 宛先番号１の入力としてダイヤルキーにて1を入力します。 d－1
宛先番号の設定終了は、田を押します。表示器は消灯します。

④ 次に宛先ダイヤル番号、例えば1 2 3を入力する（０～９の数字）と表示器に表示されます。 [illegible]1 2 3

⑤ 宛先ダイヤル番号の設定終了は、[#]を押します。表示器は、②状態となり、次宛先以降のの入力が可能となります。

⑥ 通報先設定モードを終了するには、通報先設定スイッチを押して下さい。
通報先ランプ、表示器は消灯します。

⑦ 宛先ダイヤル番号の設定が終了したら、次の操作で設定したダイヤル番号を確認して下さい。

⑧ 通報先確認スイッチを押し、通報先確認モードにします。
この時、通報先ランプが点灯します。

⑨ 同時に表示器に、[d−]が表示されます。

⑩ 宛先番号1の確認としてダイヤルキーにて[1]を入力する。[d−1]

⑪ 次に[#]を押すと、前例の場合、[123]が表示されます。設定が12桁以上の場合、最初の12桁が表示器に表示されます。

⑫ さらに[#]を押すと、残りの4桁が表示されます。

⑬ 次宛先以降を確認する場合は[*]を押し、⑨～⑫の動作を繰り返して下さい。

⑭ 通報先確認モードを終了するには、通報先確認スイッチを押して下さい。
通報先ランプ、表示器は消灯します。

※宛先番号0は、通報テストの一般回線を用いる場合に必要となりますので、あらかじめ設定しておいて下さい。宛先ダイアル番号の消去は、④のダイヤル入力を行わないことにより、③～⑤の設定において、実行されます。

2-7-3 メッセージの録音と再生

メッセージは、F—1～F—4までをフレーズ毎に録音、再生ができます。

通報時送出される手動起動メッセージは、F—1、F—2、F—3の順、自火報起動メッセージは、F—4、F—2、F—3の順となりますので、各フレーズには、下記の内容を録音して下さい。

フレーズ	内容	時間	
フレーズ1（F—1）	火事です。火事です。	約1.5秒	最大16秒
フレーズ2（F—2）	こちら○○丁目、○○番地、○○ホテルです。	約10秒	
フレーズ3（F—3）	逆信願います。	約1.5秒	
フレーズ4（F—4）	自働火災報知設備が作動しました。	約3秒	

① 本装置のメッセージ設定スイッチを押し、メッセージ録音モードにします。
この時、メッセージランプが点滅します。
同時に表示器に、[F−]が表示されます。

② フレーズ1の録音は、ダイヤルキーにて[1]を押し、[#]を押すことにより、録音を開始します。尚、録音中は、表示器の“−”が点滅します。[F−1]
“−”点滅

③ 本装置内のマイクに向かいメッセージを吹き込んで下さい。

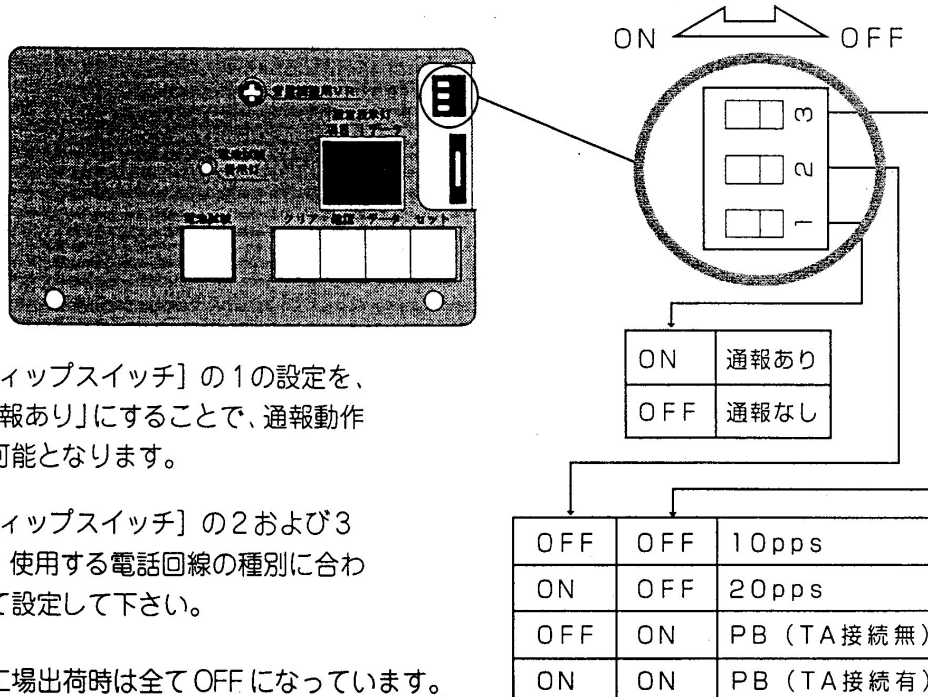
④ [#]を押すことにより、録音は終了します。
この時、表示器の点滅は停止し、次のメッセージ録音待機状態となり①の表示状態となります。

⑤ 次のフレーズを録音する時は、フレーズに該当する番号2～4を押して上記と同様②～④を繰り返します。

8．設　定

【1．［ディップスイッチ］設定項目】

本装置は、内部にディップスイッチが設けてあります。
使用する電話回線の選択信号種別に合わせてディップスイッチを設定する必要があります。

ON	通報あり
OFF	通報なし

［ディップスイッチ］の1の設定を、「通報あり」にすることで、通報動作が可能となります。

［ディップスイッチ］の2および3を、使用する電話回線の種別に合わせて設定して下さい。

OFF	OFF	10pps
ON	OFF	20pps
OFF	ON	PB（TA接続無）
ON	ON	PB（TA接続有）

※工場出荷時は全てOFFになっています。

注意	
	全ての配線および設定後は、［ディップ］スイッチの1をONにしてください。 OFFの状態では火災の通報を行いません。

【2．メモリデータ設定項目】

本装置は、ディップスイッチによる設定の他に、メモリデータによる設定機能を備えています。
<設定表示灯表示状態一覧>

番号	設定項目	設定内容	初期値
0	自火報連動の有無	0：連動なし 1：連動あり	0
1	一般通報モード	0：一般通報なし 1：1ヶ所通報で終了。 　一般通報中に119通報スイッチを受け付ける。 2：全ヶ所通報で終了。 　一般通報中に119通報スイッチを受け付ける。 3：1ヶ所通報で終了。 　一般通報中は119通報スイッチを無視する。 4：全ヶ所通報で終了。 　一般通報中は119通報スイッチを無視する。	2

番号	設定項目	設定内容	初期値
2	0発信	0：0発信しない 1：0発信する	0
3	一般通報先1電話番号	(最大16桁)	なし
4	一般通報先2電話番号	(最大16桁)	なし
5	一般通報先3電話番号	(最大16桁)	なし
6	一般通報先4電話番号	(最大16桁)	なし
7	一般通報先5電話番号	(最大16桁)	なし
8	一般通報先6電話番号	(最大16桁)	なし
9	一般通報先7電話番号	(最大16桁)	なし
10	一般通報先8電話番号	(最大16桁)	なし
11	一般通報先9電話番号	(最大16桁)	なし
12	一般通報先10電話番号	(最大16桁)	なし
13	一般通報先11電話番号	(最大16桁)	なし
14	一般通報先12電話番号	(最大16桁)	なし
15	一般通報先13電話番号	(最大16桁)	なし
16	一般通報先14電話番号	(最大16桁)	なし
17	一般通報先15電話番号	(最大16桁)	なし
18	一般通報先16電話番号	(最大16桁)	なし
19	自動通報メッセージ種類	0：「確認でき次第逆信願います。」 1：「確認でき次第呼び返し願います。」	1

【3. 設定方法】

(1) 準　備

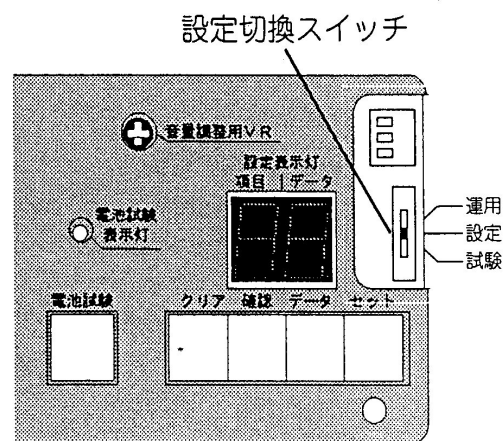
a. 本体装置のフタを開けます。

b. 本体内の［設定切換］スイッチを「設定」側にします。「設定」側にすると、［設定表示］灯が「88」点滅表示します。設定中は、［火災発報］灯が点滅します。

(2) 電話番号以外の設定

a. (1)準備を行った後[セット]スイッチを押して左側の[設定表示]灯に設定したい項目番号を点灯表示させます。
項目番号が10以上の場合は、左側［設定表示］灯の右下にある［.］(ドット)が点灯します。

b. [確認]スイッチを押すと右側の[設定表示]灯に設定されているデータが点灯表示されます。

c. [データ]スイッチを必要回数押して設定したいデータを右側の[設定表示]灯に点灯表示させ、[セット]スイッチを押します。データが設定され、次の設定項目に移ります。

d. 終了する場合は、[設定切換]スイッチを「運用」側にします。

(3) 電話番号の登録／変更

a. (1) 準備を行った後、[セット]スイッチを押して左側の[設定表示]灯に設定したい項目番号を点灯表示させます。
項目番号が10以上の場合は、左側[設定表示]灯の右下にある[.](ドット)が点灯します。

b. [確認]スイッチを押すと登録されている電話番号が一桁づつ右側の[設定表示]灯に点灯表示されます。(登録されていない場合は、表示されません。)

c. [クリア]スイッチを押して登録されている電話番号を消去します。

d. [データ]スイッチを押して一桁づつ登録したい番号を右側の[設定表示]灯に点灯表示させ[セット]スイッチを押します。(桁数分だけ繰り返します。)

e. [確認]スイッチを押すと登録した電話番号が一桁づつ右側の[設定表示]灯に点灯表示されます。

f. 右側の[設定表示]灯が消灯しているときに[セット]スイッチを押すと電話番号が登録され、次の設定項目に移ります。

g. 終了する場合は、[設定切換]スイッチを「運用」側にします。

(4) 電話番号の登録削除

a. (1) 準備を行った後、[セット]スイッチを押して左側の[設定表示]灯に設定したい項目番号を点灯表示させます。
項目番号が10以上の場合は、左側[設定表示]灯の右下にある[.](ドット)が点灯します。

b. [確認]スイッチを押すと登録されている電話番号が一桁づつ右側の[設定表示]灯に点灯表示されます。

c. [クリア]スイッチを押して登録されている電話番号を消去します。

d. [セット]スイッチを押すと電話番号のデータが削除され、次の設定項目に移ります。

e. 終了する場合は、[設定切換]スイッチを「運用」側にします。

(5) 設定データの初期化

メモリデータの設定を工場出荷時の状態にすることができます。

a. 予備電源をコネクタから外します

b. 電源スイッチを切ります。

c. [クリア]スイッチ、[確認]スイッチ、[データ]スイッチ、[セット]スイッチの4個を押した状態で電源を入れると、設定データが工場出荷時の状態となります。

d. 予備電源を接続します。

e. [設定切換]スイッチを「運用」側にします。

注意	**設定終了後は、設定切換スイッチを必ず、「運用」側に切り換えてください。正常に動作しなくなります。**

設定参考例:　ホーチキ製　FCA－BAW01　工事説明書より転載

2-3 工事後の動作確認

(1) 電源を投入する前に接続された電話機が正常（ツーの音）に使用できるか確認して下さい。また、119番通話用電話機は送受話器をとっても発信音が出ないのが正常です。

(2) 電源投入後、常用電源灯が点灯しているか確認し、扉前面のリセット釦を押して下さい。

2-4 設定及び登録

2-4-1 各スイッチの設定

〔名　称〕		〔　説明及び設定　〕
AC100V	入／切	通常入にしておいて下さい。
連動停止	連　動	自動火災報知設備と連動させる場合
	停　止	自動火災報知設備と連動させない場合
選択信号種別切替	Ｐ　Ｂ	一般加入電話回線がＰＢの場合
	ＤＰ10	一般加入電話回線がＤＰ10ＰＰＳの場合
	ＤＰ20	一般加入電話回線がＤＰ20ＰＰＳの場合
試験・登録	試験・登録	試験及び登録を行う場合
	定　位	通常は定位にしておいて下さい。

2-4-2 通報先電話番号の登録，メッセージの録音

尚、消防機関(119番）は、登録済みです。

また、任意通報先は、最大９ケ所まで登録可能です。

［登録操作方法］　※試験・登録スイッチを試験・登録側にします。

下記の順序で本体内蔵のキーボードを押して下さい。

(1)	第１通報先	#→	0→	1→	∗→	通報先電話番号	→#
(2)	〃２　〃	#→	0→	2→	∗→	〃	→#
(3)	〃３　〃	#→	0→	3→	∗→	〃	→#
(4)	〃４　〃	#→	0→	4→	∗→	〃	→#
(5)	〃５　〃	#→	0→	5→	∗→	〃	→#
(6)	〃６　〃	#→	0→	6→	∗→	〃	→#
(7)	〃７　〃	#→	0→	7→	∗→	〃	→#
(8)	〃８　〃	#→	0→	8→	∗→	〃	→#
(9)	〃９　〃	#→	0→	9→	∗→	〃	→#
(10)	試験　〃	#→	1→	0→	∗→	〃	→#

※一通報先に16桁以上の電話番号を登録した場合や番号を間違えた場合。
その通報先の登録を最初からやり直して下さい。
（例、第２通報先を間違えた場合、もう一度
#→　0→　2→　∗→電話番号→#　）
他の通報先の登録はやり直す必要はありません。
通報先が９ケ所ない場合は必要なだけ第１から順に登録して下さい。

［録　音］

※ＩＤ（住所・事業所名等）及び必要に応じて予備（予備入力起動メッセージ）を録音して下さい。マイクは扉裏面の基板上についています。

※ 119番への通報メッセージは、女性の声で登録するよう、行政上で義務付けられています。録音は女性の声で行なって下さい。

下記の順序で本体内蔵のキーボードを押し、録音して下さい。

ＩＤ（住所・事業所名等）	#→	2→	0→	∗→ＩＤ録音→#
予備（予備入力起動メッセージ）	#→	3→	1→	∗→予備録音→#

2-4-3 登録・録音内容の確認

登録された通報先電話番号を音声メッセージにより確認できます。
また、録音したＩＤ及び予備メッセージ内容を確認できます。

［確認操作方法］

下記の手順で本機のキーボードを押して下さい。尚、確認の順番は自由です。
また、登録・録音作業中でも同一手順により確認する事ができます。

#→ 通報先の番号→ #

例：#→ 0 → 1 → # ：第１通報先
#→ 1 → 0 → # ：試験通報先
#→ 2 → 0 → # ：ＩＤ
#→ 3 → 1 → # ：予備
#→ 4 → 1 → # ：送出メッセージ（火災・手動）
#→ 4 → 2 → # ： 〃 （火災・自火報）
#→ 4 → 3 → # ： 〃 （予備）

2-4-4 登録・録音内容の変更，消去

登録された通報先電話番号を変更する場合、下記の順序で本機のキーボードを押して下さい。

#→変更したい通報先の番号→ ＊→変更する通報先の電話番号→#

登録されている通報先電話番号を消去する場合、下記の順序で本機のキーボードを押して下さい。

#→消去したい番号→ ＊→#

３、 試験方法

３－１ 「火災一斉メールシステム」サイトへ管理者携帯メールアドレスの登録

「火災一斉メールシステム」取扱説明書の手順に従い、サイトにログインし、管理者様の携帯メールアドレスを１人だけ登録します。

「送信先一覧」表示画面にて、テストメールを送信し、管理者様の携帯メールで受信できることを確認します。

３－２ 地元消防本部や他の送信先への火災通報装置試験の電話連絡

実際に火災通報装置を起動しますので、地元消防本部（１１９番される消防署）に事前連絡を行い許可をもらいます。次に、一般通報先に設定されている通報先にも念のため連絡をしておきます。

３－３ 「訓練・点検モード」へ変更します

「火災一斉メールシステム」取扱説明書（P11～P12）の手順に従い、警戒モードから訓練点検モードに変更します。

変更した時に、管理者携帯メールに「訓練・点検登録メール」が配信されますので確認します。

３－４ メール送信試験

これまでに、

- 管理者様の携帯メールアドレス設定
- 地元消防本部、一般通報先への連絡
- 訓練・点検モードへの変更

が終了しましたので試験を行います。

（一般通報先の第１通報先に火災一斉メールサーバーが登録されているとします）

① 火災通報装置の通報ボタンを押し起動します。

② １１９がダイヤルされ、メッセージ送出があり、逆信呼び出しに応答します。

③ 火災通報装置は、一般通報先の第１通報先（火災一斉メールサーバー）へ通報します。

④ 火災一斉メールサーバーは、着信と同時に解析と録音を１分間行い、回線を切断します。

⑤ 管理者携帯メールに「火災メール」もしくは「疑火災メール」が受信されることを確認して下さい。

⑥ 「通報取消し」もしくは「リセット」して火災通報装置を復旧して下さい。

以上で試験は終了です。

１１９番通報はできるが、管理者携帯メールに「火災メール」もしくは「疑火災メール」が受信されない場合は、次のような原因が考えられますので確認して下さい。

① 火災通報装置の火災一斉メールサーバーの電話番号登録が間違っている。

② 管理者携帯メールアドレスが間違っている。

③ 管理者携帯メールがeメールを受信できる設定になっていない。（訓練・点検モードへ変更した時に、携帯メールに「訓練・点検登録メール」が配信されましたか? 管理者様に確認して下さい）